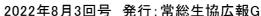
- ★被災地等を支援する【JOSOたすけあい基金】は注文番号500253にて毎週受け付けています。ご協力よろしくお願い致します。
- ★関東子ども健康調査支援基金【寄付】 注文番号:500252 1口1000円~ にて毎週受け付けています。ご協力よろしくお願い致します。
- ★東海第二原発差止訴訟基金【寄付】 注文番号:500251 1口500円にて毎週受け付けていますご協力お願い致します。
- ★JOSO脱プラ基金は注文番号:500254 1口500円にて毎週受け付けていますご協力お願い致します。







2022-23年度活動テーマ(案)「つくると食べるでつながろう ~私たちの地産地消~」

## 子ども応援プロジェクト

# **\生産者、組合員さんから65kgの支援が集まりました/**



夏休みに向けた食糧支援活動&募金を6/13(月)~6/24(金)の2週間、組合員・生産者に呼びか けました。

組合員さんからは、フードドライブで15 k g 、戸頭店で2.5 k g の支援物資が集まりました。また、 生産者さんからも多くの支援を頂きました。

| 社名       | 支援物資                        |
|----------|-----------------------------|
| (有)やまこみそ | 白米10 k g × 3袋               |
| (有)友田味販  | 煮豆(小袋) × 300袋               |
| (株)秋川牧園  | レトルトキーマカレー × 40袋            |
| (有)せいふてぃ | 実穀シリアル×8袋、お茶漬け×10袋、ふりかけ×10袋 |
| (有)増田商店  | 柿の種 × 100袋                  |

#### ○ 7/15搬入&梱包作業をしてきました/

今回もフードバンクちばさんにもご協力をいただき、大量の飲料水、ジュース・災害用アルファ米、 玄米などトラックいっぱいになるほどお預かりしてきました。支援物資を引き取りにうかがった日に 「大学生支援」が行われていました。多くのお米が届いており、フードバンクのボランティアの方たち とコンテナからお米を取り出す作業を共に行いました。

フードバンクの呼び掛けで2名の大学生もボランティアに来られており、休憩時間にお話を伺うこと ができました。



大学生の多くは、収入の確保のためアルバイトの収入が前提の生活を送っているとのこと。コロナ禍でアルバイトが出来ないことでとても苦しい生活を陥っており、フードバンクの取り組みに大変感謝されていました。

おひとりの方は、大学のサークルでボランティア活動に取り組んでいます。 東日本大震災後、宮城県亘理町とつながりをもち、毎年交流を深めていたそう ですが、コロナ禍になり、交流が途絶えたことを大変残念がっていました。し かし、今年はオンラインでのつながりを持てたことを喜んでいました。もう一 人の方も、大学に入られる前からボランティア活動をされており、友達からは

「ボランティアなんてしてないでバイトでもしたら~」といわれるそうですが、いろいろな活動をしている方と知り合えることに喜びを感じているとおしゃっていました。

支援物資を積み込み、地元の守谷市社会福祉協議会に向かいました。社会福祉協議会、地元の団体が中心になり行われている「もりやもぐもぐ応援バッグ」は、守谷市内の準要保護世帯に向けた支援活動で、180世帯の希望者に配布予定です。今回で4回目になり、回を重ねる毎に多くの支援物資が集まっております。地元のコンビニでも商品の入れ替え時に支援して頂いたり、地域全体で子どもたちを見守る活動が広がっていると感じました。

19日、協同組合ネットいばらき、フードバンク茨城の呼びかけで行われた「2022夏 子ども応援プロジェクト」へお預かりしている支援物資を届けてきました。就学支援を受けている小中学生のいる約450世帯を対象に、当日は荷物の搬入、翌日行われる箱詰め作業の前準備としてお米、ジャガイモ・玉ねぎの仕分け作業、段ボール箱つくりが行われました。



#### 「できるときに、できることを」

今回の活動に参加して多くの方とのつながりを感じました。フードバンクがハブ的な役割をもち、一般



の家庭からの余っている食品、企業からの大量の災害用備蓄食品など、今まで処分(?)されていた多くの食品が必要とされている方に届けられる仕組みが構築されています。常総生協も「できるときに、できることを」続けていきます。

また、6月は「JOSOたすけあい基金」へ82,000円の支援がありました。 関係団体へ送りたいと思います。ありがとうございました。 **子ども応援プロジェクトにご協力ありがとうございました。 今後とも継続した取り組みをしていきます。ご協力よろしくお願い申し上げます。** 

#### 7/2(土) 地産地消(野菜)チーム青木農園援農交流会 活動報告

#### ~青木農園 青木和弘さんの紹介~

青木農園さんは坂東市沓掛(くつかけ)で農業をおこなっており、現在35歳と農業従事者の中では"若手"の生産者です。常総生協とは2020年6月から取組を開始し、野菜セットや固定種を中心としたなす・トマトなどを出荷してくれています。

青木さんの父も農業を営んでおりますが、栽培方法は慣行栽培。青木さん自 身農薬を使った野菜を自分の子どもなどに食べさせる後ろめたさがあり、農 薬・化学肥料に頼らない野菜作りを日々行なっています。



#### ~青木さんよりコメント~

「農薬散布も"マスク1枚"で行っている農家の現状も知りつつ、自分の家族や子どもの代まで影響が及ぶことに恐怖があります。確かにアブラムシなど害虫が発生した場合は、使いたい気持ちもありますが、農薬を使わないという事を決めた以上は使いません。自家製の堆肥とER菌という菌を土に使う事で、健康な土が出来上がります。まだまだ試行錯誤ですが、農薬や化学肥料に頼らない野菜作りをこれからも行なっていきます。」

#### ~当日はじゃがいも堀りをお手伝い~

当日は組合員家族14名、職員5名の合計19名で坂東市青木農園に援農活動に行きました。作業内容は、じゃがいも掘りです。品種は3種類(キタカムイ・ノーザンルビー・シャドークイーン)があり、青木さん指導のもとマルチ(土壌の乾燥防止等に効果的な資材)を外して、収穫スタート。土も熱くなっており傷んでしまったじゃがいもも多く、生産者さんの大変さを実感しながらの作業となりました。参加してくれた組合員さんや子供たちは途中で水分補給をしたり、休憩を取りながら一生懸命作業し「掘れたよー!」と嬉しそうにみせてくれる子もいました。暑さもあり作業は早めに終了し、日陰で青木さんへの質問タイム(その間子供たちは、青木さんの弟さんが用意してくれたプールへGO!)家庭菜園をされている組合員さんからは熱心に色々な質問があり、青木さんも丁寧にお答えしていて、人柄も感じられる交流の場となりました。





生産者の青木さんやそのご家族の方のお人柄が素晴らしく温かい気持ちになりました。暑さの中でしたが、子供は夢中で芋ほりしていました。珍しい紫色のじゃがいもがきれいで美味しかったです!生産者の方にお会いできて一緒に作業したりお話したりという交流は本当に贅沢で農業に対する愛情も感じられ、貴重な経験になりました。草取りもするかと思いましたが暑さのせいと青木さんがそんなことをやってもらうのは恐縮…というようなことをおっしゃっていましたが、草取りも大切な仕事だと思うのでやらせてもらいたいと思いました。(雑草は大切とおっしゃっていましたが(笑))

#### ~青木さんへのメッセージ~

心温まる交流会をありがとうございました。青木さんとご家族のお人柄に触れ、ファンになりました。(笑) 農業は自然に左右もされ苦労も多いと思いますが、いい意味で肩の力を抜いて「適当です」と話され、楽しまれてされている姿が印象的でした。じゃがいももトマトもとっても美味しかったです!また参加させて頂けたら嬉しいです。 (つくば市 Aさん)

#### 参加させて頂き、ありがとうございました。

猛暑の中での参加だったので、2歳の次女は早々に疲れてしまいましたが、日陰で休ませてもらったおかげで元気も取り戻し、再び参加する事も出来ました。今回は少人数だったからこそ自分達のペースで参加も出来たので今回位の人数での参加が良いな~と個人的には思いました。

軽トラの荷台に乗せてもらえたり、水遊びで子供達をリフレッシュさせて頂けたりと貴重な体験も+αで楽しませてもらえました。次回もぜひ参加させて下さい!!

#### ~青木さんへのメッセージ~

今回は色々な御配慮ありがとうございました。

我が家は青木農園さんの野菜の大ファンなので、実際の畑を見たり触れる事ができて、すごく嬉しかったです。いつも美味しく頂いてます(^^)

色の違うジャガイモを目にして娘達の目はキラキラ。いただいたトマトもすっごく濃厚で美味しかったです。 長女(4歳)は大きいトマト2個を一気に食べました(笑)。収獲作業後の軽トラ荷台に乗せてもらうのも次女 (2歳)はすっごく喜んでいました。水遊び用の準備もして頂き、いたれりつくせりで感謝です!家族全員みん なで楽しかったです。 (守谷市 Kさん)

今回、初めて参加させていただきましたが、連日の記録的な猛暑の中、一生忘れられない貴重な体験をさせていただきました。子供たちは、畑から出てくるじゃがいもに大興奮!とってもいい顔をしていました。自分たちでとったじゃがいもで作った料理をたくさん食べて嬉しそうでした。

### トマトがきらいな娘が大きなトマトを丸かじりしていたのには驚きました。

#### ~青木さんへのメッセージ~

今年は特に天候に振り回され、ご苦労が絶えないことと思います。このような状況の中でも新鮮なお野菜を頂けることに感謝の気持ちでいっぱいです。これからも頑張ってください!私たちは野菜をいただくという形でエールを送り続けます。 (つくば市 Iさん)

#### ∼担当職員より∼

参加いただいた組合員の皆さん、暑い中大変お疲れさまでした。青木農園でじゃがいもの収穫をお手伝いしましたが、収穫のタイミングが少し遅かったという事で傷みが多くみられた事がとても残念でした。「他の作業とタイミングが重なり、収穫ができなかった」という事ですが、援農活動は"手伝ってほしいタイミングでお手伝いできる事"が大切なんだと改めて分かりました。

#### ~今後の展開について~

- 収穫した野菜で料理レシピを教えてもらう(または組合員で作ってみる!)
- 家庭菜園のコツを生産者から教えてもらう!

など、様々なアイデアを頂いたので、援農活動+αで企画を進めていきたいと思います。次回は9月10日(土)の 予定ですので、引き続きご参加ください! (担当職員:平井・阿部)

#### 7/16(日)鎌倉八ムクラウン商会・魚住さんによるウインナーづくり講習会 開催報告

5月の藤井養蜂場さんの講習会に続き、本年度3回目の講習会として、「ウインナーづくり講習会」を行いました。参加人数は大人、子供合わせて23名での開催となりました。

当日は、感染拡大防止の為、大きな声でお話しすること、参加者の 皆様が密になる行動は避けながら行いました。その中でも楽しく開催 する事ができました。

講師として(株)鎌倉ハムクラウン商会の魚住さんにお越しいただきました。魚住さん自身もコロナ禍になってから講習会は約3年間行っていないとのことでしたがブランクを感じさせない進行で楽しま



せて頂きました(笑)!!また、今後とも継続的にイベントは行っていく予定ですのでNewsletterやホームページ等をご確認して頂きご参加いただければ幸いです。(以下、開催したウインナーづくり講習会の内容の抜粋になります。)

### 【魚住さん直伝!おいしいウインナーの作り方!】

お使い頂く材料は、通常鎌倉ハムクラウン商会が工場で作っている材料・方法とちょっとだけ違います。なるべくご家庭にあるもので、美味しいウインナーを作れる材料を紹介させていただきます。

#### ■材料: (3~4人分)

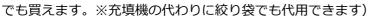
・豚挽肉…250g 食塩…4g 砂糖…2g 胡椒…1g レモンの皮…少々 水…30cc 羊腸…1m

#### ■作り方

①始めは肉と食塩だけで練ります。新鮮な肉と 塩のみの力で粘りが生まれます。赤身と脂が混 ざり白っぽくなるまで頑張って練ります。

②練った肉に砂糖、胡椒、レモンの皮、水を入れ、均一に混ぜます。

③充填機で羊腸に詰めます。はじめに長い1本の ウインナーを作ります。(充填機と羊腸は市販



- ④手でねじってチェーン状に形づくりをします。
- ⑤大きいお鍋で80℃位(お鍋の底から泡が少し出ている位)の温度で約20分ボイルして完成!



家族4人で参加させて頂きました。コロナ禍で久しぶりの講習会を開催して下さり、ありがとうございます。

子供達も楽しそうにお肉をコネコネしている姿を見る事ができ、とっても嬉しかったです。また、鎌倉 ハムクラウン商会さんは受注生産だと知り、とても贅沢ですし、ありがたいと思い、ますますファンに なりました。おすすめのボイル方法(沸かしたお湯にウインナーを入れ火を止めて3分待つ)で食べてみま したがとても美味しかったです。

(我孫子市・Iさん)





